

様式第4号（第6条関係）

令和 年 月 日

小林市長 様

宣誓及び同意書

事業継続支援給付金の支給の申請に当たり、当法人及び代表者又は個人事業主の市税等納入状況について、市が確認することに同意します。また、「2 宣誓事項」の内容について相違ないことを宣誓します。

記

1 申請者

(1)法人名又は 個人事業主の屋号	(ふりがな)
(2)法人の所在地	
(3)法人の場合、 代表者の職・氏名	代表者印 ⓐ
(4)代表者又は 個人事業主の住所	
(5)代表者又は 個人事業主の氏名 (※自署)	(ふりがな) ⓐ
(6)代表者又は 個人事業主の生年月日	年 月 日

2 宣誓事項（□にチェックを付けてください。）

- 支給対象者の要件を満たしています。
- 申請内容は虚偽ではありません。
- 支給申請時点において、営業を廃止していません。
- 各関係団体又は県が作成した新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを遵守しています。
- 以下のいずれかに当てはまる者ではありません（法人の場合は、その役員等を含む。）。
 - ア 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - イ 暴力団員がその経営に実質的に関与している者
 - ウ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって暴力団を利用している者
 - エ 暴力団若しくは暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、若しくは関与している者
 - オ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - カ 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用している者
- 上記の事項について、小林市からの調査や報告の依頼があった場合には、真摯に協力します。
- 虚偽の申立等により給付金の支給要件を満たさないことが判明し、小林市から給付金の返還を命じられた場合は、速やかに返還します。